

後援会 ごより

至誠学園後援会

東京都立川市錦町 6-26-15 至誠学園内

Tel 042-524-2601 Fax 042-524-2367

[E-mail] koenkai@shiseigakuen.org

平成 30 年 7 月 31 日発行

会員の皆様におかれましては、ますますご清祥のことと心よりお喜び申し上げます。

4 月 29 日は、ガーデンパーティーが開催されました。当日は初夏を思わせるような晴天となり、法人内の職員と大勢のボランティアスタッフとの協力によるゲームコーナー、模擬店、お食事コーナー、ステージショーなど様々な催し物が準備され、沢山のお客さまとともに楽しむことのできる機会となりました。とても充実した一日となったことと思います。

永年続くガーデンパーティーでは、後援会の会員の皆さまはもとより、懐かしい人たちに会うこともできる貴重な場にもなっています。関わって下さったすべての方たちに感謝すると共に、地域の方々との交流の大切さについても実感した一日となりました。

6 月 16 日（土）には、30 年度第 1 回役員会を開催しました。今年度後援会としては、園内の幼児たちが通う「モンテッソーリ立川子どもの家」の開設 40 周年を祝い、記念誌作成の支援を行います。秋には運動会や児童虐待防止推進月間事業「0 歳からの親子コンサート」の開催にあたり、後援を予定しています。

また、児童事業本部の行うチャリティー・マーケットや、至誠合同バザーに後援会として出店するなど、後援会会員皆さまとの交流の機会を設けていくことを計画しております。皆さまの善意の結集により楽しい集いを催し、その輪が広がっていくことを願っております。今年も後援会の輪を広げ活動を充実させていくことができるよう変わらぬご協力をお願い申し上げます。

至誠学園後援会会長 佐々木信孝



暑中お見舞い申し上げます。梅雨明けとともに猛暑がやってきました。このところ災害等のニュースが多く、甚大な被害に言葉を失い自然の大きな力を思い知らされるようです。とはいえ子どもたちは夏休みを楽しみにスポーツ大会に向けた練習や夏季行事の準備に取り掛かっています。8 月には能登でボーイスカウトの日本ジャンボリーが開催されスカウトとリーダーが参加します。何より参加者の健康と安全を心より祈っています。

障害福祉事業については、念願であったグループホームの開設計画が「至誠学舎立川に於ける障害福祉事業の総合化推進プロジェクト」としてスタートしました。戦前からの借地であった旧至誠養護老人ホームの跡地の購入が決まりその土地を活用して新たな施設を建設します。新施設には、就労継続支援 B 型、生活介護、グループホーム、そして社会貢献活動にも活用できる多目的ホールを備えたものを考えています。開設予定は 2 年後の 2020 年 4 月を予定しています。

後援会の皆様には、今まで子どもたちの特別行事や設備の修繕、備品購入、卒園した人たちへの支援等公費では裏付けのない部分へのお力添えをいただいております。新施設の建設に対するご援助も含め、今後も皆様のご支援を賜りますよう よろしくお願い申し上げます。

児童事業本部本部長 高橋久雄



至誠大空の家・はばたく会 (3/17) 至誠学園・卒園式(3/18)



至誠学園から4名、大空の家から3名が卒園しました。皆様に温かく見守られながら、それぞれがこれからの夢に向かってはばたいて行きました。

会長から卒園生一人ひとりに励ましのことばとお祝い金が贈られました。



卒園生との交流会 (4/1) たましん RISURU ホールギャラリー

卒園生友の会の皆さんの中には、ご自身のご家族や、お子さんを連れて来て下さる方もいました。総勢35名の参加でおいしいお食事と共に昔話に花が咲きました。参加した卒園生から「後援会の皆さまのあたたかな思いを聞くことができ良かった」「子どもの成長を見てもらえて嬉しい」といった声が届いています。後半はビンゴゲーム大会で大盛り上がり！和やかな雰囲気での交流会となりました。



子どもたちの健やかな成長を祝うガーデンパーティー (4/29)



晴れ渡る青空のもと、1000人を超える方々が来園されました。毎年恒例の明星大学マーチングバンド部の演奏での開会入場です。たくさんのボランティアの方々のお力で楽しい一日となりました。

チャリティーマーケット (7/7)

後援会のお店として会員皆様のご提供いただいた品々を出店し〇〇円の収益となりました。ご協力いただきました皆様、ありがとうございます。後援会では皆様の会費をすべて助成金とするため、この度の収益金をお便りの印刷代や送料に充当させていただいております。

平成 29 年度事業報告

1. 後援会役員会を2回開催しました。

第1回役員会 5月20日(土)11:00~13:00 かしの木プラザ会議室

内容：①平成28年度事業報告・決算 ②平成29年度事業計画(案)・予算(案)

③後援会便りの発行について ④行事参加報告 ⑤各施設からの状況報告

第2回役員会 11月25日(土)10:30~12:30 かしの木プラザ会議室

内容：①平成29年度年度会費中間納入状況報告②後半期行事の活動報告～みんなで楽しく運

動会(10/14)・0歳からの親子コンサート(11/9) ③後援会だより第2号発行について

④各施設の現状報告

2. 平成29年度会費納入状況(229名 会費合計1,757,860円)

3. 施設行事等への協力

4月30日(日) 子どもの健やかな成長を祝うガーデンパーティー[会場]至誠学園園庭

7月1日(土) チャリティー・マーケット、後援会コーナー出店[会場]至誠学園園庭

10月14日(土) みんなで楽しく運動会[会場]至誠学園かしの木プラザ・ホール(雨天)

10月14日(土) 至誠合同バザー、後援会コーナー出店[会場]至誠ホーム

11月9日(木) 第14回児童虐待防止推進月間事業「0歳からの親子コンサート」

[会場]立川市市民会館

12月24日(日) 至誠学園クリスマス会[会場]至誠学園かしの木プラザ・ホール

3月17日(土) 至誠大空の家「大空へはばたく会」[会場]至誠大空の家ホール

3月18日(日) 至誠学園卒園式[会場] 至誠学園かしの木プラザ・ホール

平成 29 年度決算報告

(円)

	項目	予算	決算	摘要
収 入	繰越金	243,165	243,165	
	後援会会費	2,500,000	1,757,860	会費納入延べ人数229名 (28年度214名)
	雑収入	11,835	109,980	児童事業本部バザー7/1 25,500 至誠合同バザー10/14 67,380 テレカ寄附換金、他 17,100
	利息	0	1	
	合計	2,755,000	2,111,006	
	項目	予算	決算	摘要
支 出	学園寄付金	2,500,000	1,757,860	会費と同額を寄付
	郵便振替料金	20,000	17,800	郵便振込手数料
	切手代、印刷代	25,000	30,802	切手、振込用紙印刷代
	雑費	0	16,200	故小川理事供花代
	予備費	210,000	0	
	次年度繰越金	0	288,344	
	合計	2,755,000	2,111,006	

平成 30 年度事業計画

<活動趣旨と方針>

社会的養護を必要とする子どもや障害者が抱える問題の深刻さと重さは、孤立した家庭の問題など地域のつながりがうすれ家庭と地域社会の養育力や支えあう力が弱まっていることの表れと考えます。

私たち後援会は、至誠学園、至誠大地の家、至誠大空の家、まことクラブの運営や活動を支援することを通して子どもや利用者のより豊かな生活や明るい未来の実現と地域福祉の向上に寄与したいと思います。

今年度も財政面と共に理解者として支援していくために下記の事業を行います。特に後援会からの寄附については、アフターケア等公的な予算の不十分な事業の充実のための支援をします。

<主な事業の内容>

1. 会員、寄附者の拡大
2. アフターケア等の充実のための後援会基金としての寄附金¥2,000,000円
 - ①自立する高校卒業児童への支援金（祝金）、②卒園生と後援会役員の交流会の開催、③モンテッソーリ立川子どもの家（園内幼稚園）開設40周年記念誌作成等の費用に充てる。
3. 至誠学舎立川児童事業本部が実施する事業の後援・共催等の協力
 - (1) 4月29日(日) 子どもの健やかな成長を祝うガーデンパーティー
 - (2) 7月7日(土) チャリティーマーケット（バザー）
 - (3) 10月13日(土) 至誠合同バザー
 - (4) 10月27日(土) 合同運動会「みんなで楽しく運動会」
 - (5) 11月1日(木) 児童虐待防止推進月間事業 「0歳からの親子コンサート」
 - (6) その他協力要請のあった事業等
4. その他
 - (1)後援会だよりの発行（年2回）
 - (2)バザーに後援会コーナーを開設して、会員募集と運営資金造成を図る

平成 30 年度予算

(円)

	項目	予算額	概要
収入	繰越金	288,344	
	会費	2,000,000	
	雑収入	11,656	バザー他
	合計	2,300,000	
支出	学園寄付金	2,000,000	
	郵便振替料金	20,000	
	切手、封筒他	30,000	
	予備費	250,000	
	合計	2,300,000	

～後援会役員より～

後援会副会長 浅見 義明『みんな違って』

ここ何年か、青少年の主張大会の審査員をたのまれることがある。たのまれるままに、させてもらっているが、何とも言えない、疲労感をおぼえる。発表する生徒達が皆、優等生なのである。大会であり、賞を付けるし、先生の指導もあるのでしかたないのかなと思うが何ともやりきれないのである。自分の中学生時代を振り返って見てもこんな立派だったかなと思う。どんどん発表者が進んでいくと同じような内容なので眠くなってしまふ。しょうがない審査員である。PTA 関係の人に、ヤンキー的な主張があってもいいじゃないかと言うと、一笑に付されて、「そんなのあるわけない。選ばれないよ。」である。そうかな？と思う。金子みすずの「みんな違ってみんないい」だと思ふ。ちょっと世界は違うが、武者小路実篤は「君は君、我は我されど仲良き」である。おもしろいの 出てこないかなと思つて、来年も審査員を受けてしまうかである。



後援会副会長 師岡 恵美子『子供たちの成長に思う』

時々、役員会や他の用事で学園へ行くことがあります。園庭で遊ぶ子供たちの姿を見つけると、いつも立ち止まって眺めています。ボールが転がってきたり、ニコニコ笑顔で声をかけてくる、私にはちょっとした出来事が嬉しいのです。またガーデンパーティーではじける笑顔でゲームに興じている姿に、元気で大きくなあれと願わずにはられません。



そんな子供たちが、あの卒園式の感動的な場面に、いつか登場するのです。スーツや背広姿で緊張しながらも立派に挨拶する、成長を強く感じます。更には、卒園生の交流会ではもっと大人になった姿を見せてくれます。まだやんちゃの残る若者だったり、子連れのパパやママなど、きっと職員の皆さんには、今迄の大変さを忘れさせる、たまらない場面だと思います。人生の階段のそれぞれの節目に、こうして応援団として参加できることが、後援会の私たちにとって、何より嬉しいことであり、幸せなことです。

後援会理事 名取 種子

紫陽花が綺麗に咲きました。日頃、学園に暖かいご支援、本当にありがとうございます。今日も元気な子供達のボール投げの音が庭一杯に聞こえます。訪れる人もこの声を聞くだけで楽しい気持ちになります。

6月16日に役員会が開かれ、平成30年度の諸計画も、無事、承認されました。後援会の寄付金が、大きな力となっております。これからも変わらぬご支援、切にお願い申し上げます。



後援会監事 杉田 英一

至誠学園と私の関わりは今から65年位前、至誠保育園の入園から始まりました。その保育園から高校まで、児童事業本部長の高橋久雄さんとの同級生だったことと、その後のPTA、青年会議所、民生児童委員の活動を共にしてきたもあっていつも繋がっていたように思います。その間にも至誠サイエンスクラブにボランティアとして参加、



そして今はこの後援会のお手伝いをさせていただいています。至誠学園とのかかわりの中でいつも思うことは、地域の方々や協力して下さる方々の繋がり深さです。ガーデンパーティ、バザー、運動会などの行事に多くの方が学園と一体になって子供達と楽しく活動しているのは素晴らしいことです。後援会の皆様もぜひ 行事に参加して子供達とふれあい、学園との繋がりをもっと深めていって欲しいと願っています。

後援会監事 渡辺 道子

1981年頃、学園に何うとボランティアさん達がふとんの綿の入れ替えを汗まみれになりながらも皆さん楽しそうでした。

そんな時代もあったんだ！と大きくなった学園の昔をふと思い出しました。

組織が大きくなって行く過程で時折後援会の役員会で高橋学園長からのご苦労話を伺います。かつて手放した土地を買い戻したいとの思いを当時後援会会長の後押しで買い戻し、今の「大地の家」が出来たこと。都内では屈指の児童施設に発展されました。

3月、学園では卒園式が行われます。高校を卒業すると学園を離れます。大学進学する人、就職する人それぞれが思い出を語り、在園生からもメッセージがあり、とても感動する場面があります。後援会からも皆様から頂いた会費の中からお祝い金を贈ります。後援会の輪を広げて巣立ってゆく子供達をこれからも応援してゆきましょう!!皆様もご協力を重ねてお願い申し上げます。



後援会理事 名誉学園長 高橋 利一『故 高橋利成先生を偲んで…』

至誠学園を創設された故高橋利成先生没後 50年の記念の集いを何らかの形で実施したいとの提案をさせていただきました。創設者亡き後、稲永ヨシ二代理事長を支え、廃止となった少年保護事業から、新たな法による至誠保育園、至誠学園、更には至誠ホームの開設への私財の投入といった尽力は、残された日記から壮絶な状況であったと想像できます。多くの方々の支えにより、その後は至誠学園長、法人常務理事として日夜努力し、『学園のお父さん』として、職員や子どもたちから慕われていました。昭和43年元旦、多くの方に惜しまれながら食道がんにより他界しました。前日の日記には、「私を中心にしてくれる人たちのためにも生きねばならぬ」と記されていました。私が、記念の集い開催についてお話をした折に、佐々木後援会長も学生時代にボランティアとして学園を訪問する度に、利成先生とお会いするのが楽しみなひとときであったと話されていました。計画が決まり次第ご案内させていただきたいと思います。



訃 報

後援会理事の小川庄二様が、去る平成30年3月にご逝去されました。
永年に亘るご協力に感謝申し上げますとともに謹んでご冥福をお祈りいたします。

《平成 30 年度 至誠学園後援会ご協力のお願い》

今年度も多くのご協力を頂き感謝申し上げます。引き続きご支援をお願いいたします。

- ①人会員 1 口（年額 2 千円）以上 ②団体会員 1 口（年額 5 千円）以上
③賛助会員 1 口（年額 1 万円）以上

<u>ゆうちょ銀行</u>	郵便振替口座 00140-2-356681	口座名 「至誠学園後援会」
<u>ゆうちょ銀行</u>	通常貯金 記号 10090 番号 14327531	口座名 「至誠学園後援会」
<u>多摩信用金庫</u>	錦町支店 普通預金 0269785	口座名 「至誠学園後援会」
<u>三井住友信託銀行</u>	立川支店 普通預金 7902588	口座名 「至誠学園後援会」

☆払い込み表に入会のきっかけや、ご関係についての記載面を追加しました。

お手数ですが、ご記入いただけますと幸いです☆

【後援会役員】

【名誉会長】三田鶴吉 【会長】佐々木信孝 【副会長】浅見義明 師岡恵美子
【理事】 小山廣重 菊池由佳 徳井美千代 名取種子 西村一夫
 長谷川照代 三田 剛 真壁一郎 高橋利一 高橋久雄
【監事】杉田英一 渡辺道子 【事務局】櫻井 壽【会計】高橋 恵

平成 30 年度第 1 回役員会

去る 6 月 16 日（土）10：30～12：30、至誠学園かしの木プラザ会議室で開催し、平成 29 年度事業報告、決算、平成 30 年度事業計画（案）、予算（案）を審議し、すべて承認されました。佐々木会長はじめ理事、監事他 19 名が参加しました。